

あなたの生きがいと元気を応援する

情報誌

南部シルバーエリア

老人福祉 ふれあいタウン

第22号 平成11年9月1日発行



福祉セミナー 7/22~24

夏休みを利用して県南地区の中学・高校生を対象にした福祉セミナーを実施していますが、今年は39名が参加。福祉に関する講義・基本的な手話や装具をつけての老人体験などを行いました。横手城南高校3年の水谷美香さんは「老人と同じ位置に立って接する必要がある、そのことはコミュニケーションをとっていく上ですごく大切だと感じた」と感想を述べ、福祉への関心を新たにしたようでした。エリアではこれからも福祉に興味や関心がある地域の皆さんを応援していきたいと考えています。

全身におもりなどの装具をつけて、「お年寄り」を体験

もくじ

- エリアってどんなところ?.....②~④
- エリアの元気レポート.....⑤
- あんなこと こんなこと.....⑥~⑧
- 私の思い出ばなし.....⑨
- 知ってお得なエリア情報.....⑩~⑪
- シルバーケアセンター 利用料金表 ほか.....⑫



Area 知ってお得に information エリア情報

ハーブ湯と水のサービス

敬老の日に合わせて、コミュニティセンター大浴場でハーブ湯を行います。このハーブはエリア敷地内の生きがい農園で栽培しているハーブを使ったもので、心身のリラックス効果が期待できます。また、入浴後は冷たいハーブ水も用意しております。

- 日時…平成11年9月15日(水) 敬老の日
- 場所…コミュニティセンター大浴場

東南三市三郡ゲートボール大会

横浜市平鹿郡内の40チームが参加し、熱戦が繰り広げられます。ぜひ応援にいらしてください。

- 日時…平成11年9月30日(木)
午前9時30分～午後2時25分
- 会場…エリア生きがい交流広場

ミニ四駆大会'99 エリアシリーズ第三戦

年間を通じたシリーズ戦もいよいよ後半戦に突入！上位に食い込むには、今回の成績がカギになりそう。熱戦が期待できます。

- 開催日…平成11年11月3日(水) 文化の日
- 会場…エリア屋内運動広場
- 対象…小・中学生
- 参加費…1人 300円
- 受付…当日午前9時より会場で受け付けます。
- レース開始…午前10時より

ふれあひ会

エリア入居者・利用者和大森町内の保育所年長児がゲームなどを通じて楽しく交流します。

- 日時…平成11年11月17日(水)
午前10時から
- 会場…子どもと老人のふれあひセンター

第三期～第五期水泳教室のご案内

子どもから年輩の方まで技術の習得レベルにあわせた水泳教室を行っています。

また、屋内温水プールなので1年中どなたでもご利用いただけるようになっています。

- 開催期間…平成11年9月1日～12月22日
- 場所・問い合わせ先…屋内温水プール

生きがい農園「さつま芋掘り」

春に植えたさつま芋は立派に成長しています。ご家族おそろいで参加してみたいはいかがですか。

- 日時…平成11年10月2日(土) 午後1時30分～
- 会場…エリア生きがい農園
- 用意するもの…移植ベラ、軍手、長靴

「秋の祭典'99」開催のご案内

活き活き学園の各教室における発表の機会として「秋の祭典'99」を開催いたします。期間中は大森町園芸クラブ主催の菊花展などのイベントも企画しておりますので、お誘い合わせのうえご来場ください。

- 日時・イベント内容…エリア企画指導課までお問い合わせください。
- 場所…コミュニティセンター

なつメロと踊りの会「チャリティショー」

なつメロと踊りの会会員が一堂に会して歌い踊る恒例となった楽しいショーです。お誘い合わせの上、ご来場ください。

- 日時…平成11年11月14日(日)
午前9時30分～午後3時30分
- 会場…大森町役場コミュニティセンター

ミニギャラリー

展示 予定



秋田羽後 五行歌の会作品展

五行歌とは五行で書く歌のことです。自由に歌を詠んでいた万葉集以前の古代歌謡にならって、現代の言葉で自由に書いたものです。作者の思いが、新鮮な言葉で直接伝わる作品の数々をお楽しみください。

- 会期…平成十一年九月一日～三十日
- 会場…コミュニティセンター 玄関ホール

藤原忠、亮子写真展

湯沢市在住の藤原氏ご夫妻は東北二科展・県展などで数多く入選し、秋田二科会に所属する方々。写真を通じた趣味とするお二人がとらえた美しい自然や人々のふれあいの瞬間をご鑑賞ください。

- 会期…平成十一年十月一日～二十九日
- 会場…コミュニティセンター 玄関ホール

何でも相談室

からの



お知らせ

尿失禁に関する 悩みの相談

おしっこが我慢できなかつたり、知らないうちに出てしまう…おしっこが出にくかったり残っているような気がする…といった悩みについて相談を受け、あなたにあった解決方法を一緒に考えていきます。なかなか他の人には話しにくいことではありますが、ひとりですぐ気軽に相談ください。

福祉セミナー

中学・高校生で福祉に興味や関心のある方、親子や団体で介護の実習をしてみたい方を対象に福祉セミナーを企画しております。福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変わってきていますので、みなさんに最新の情報を提供したいと考えております。

■連絡先：診療リハビリセンター

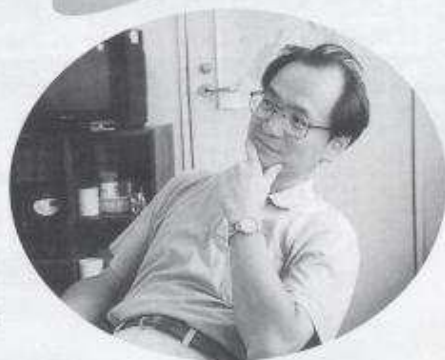
〒0182(26)3869 保健婦判田

生き生き学園からの お・知・ら・せ

「語りを聞く会」

- 講師…カルロスさん
 - 演題…旅芸人カルロスの「みちのく人情旅の宿」
 - 内容…横手市在住の舞台芸人カルロス（日本人）が、旅回りで会った人・自然との一期一会をコミカルなタッチで絵巻風に語ります。
 - 日時…平成11年9月14日（火）
午後1時30分～午後2時30分
 - 場所…コミュニティセンター 視聴覚室
- ※生き生き学園生以外の方でも気軽にご参加ください。

エリア診療 リハビリセンター歯科医師に 福山眞樹先生が着任



お約束のポーズを決める福山医師

エリアのオープン当初からご尽力いただきました菊地功先生が秋田市内に開業なされたことに伴い、福山眞樹先生が後任の歯科医師として着任されました。先生は東北大学歯学部のご出身で、エリアがオープンした昭和63年7月から約半年間、菊地先生とともにエリア診療リハビリセンターの歯科医師としてご活躍なさいました。現在は西木村歯科診療所を開業なさっていますが、かつてエリアや特別養護老人ホーム白寿園で障害の重いお年寄りの治療に当たった経験から障害を持った患者さんへの治療に関心を持ち、村内では在宅往診を精力的にこなしていらっしゃいます。歯科疾患を生活習慣病の一つとして捉えた治療と口腔衛生指導を基本とした指導方針は、入居者を抱える私たち福祉施設の職員にとっても学ぶことが多いものと思われま

ボランティア活動報告

活動日	個人・団体名
6月18日	大森町母子寡婦福祉会のみなさん
6月23日	大森町大町婦人会のみなさん
6月24日	大森町八日町第一老人クラブのみなさん
6月29日	大森町八沢木婦人会のみなさん
7月2日	大森町小話沢部落会のみなさん
7月6日	大森町袴形・後村婦人会のみなさん
7月8日	木曾達士さん、木村公喜さん、真壁友紀さん、皆方克明さん(横手西中学校3年)
7月9日	大森町昼川老人クラブのみなさん
7月27日	大森町五日町婦人会のみなさん
8月6日	大森町舟沢婦人部のみなさん

ありがとうございました。

エリア利用状況

(4月～7月までの累計)

コミュニティセンター

有料利用	今年度	前年度	増減
宿泊人	473	220	253
休憩人	6,568	6,710	△142
会議室等時間	136	25	111
テニスコート時間	22	54	△32
屋内運動広場時間	77	44	33
屋内温水プール人	7,820	6,537	1,283
無料利用	今年度	前年度	増減
屋内運動広場人	9,907	16,427	△6,520
ふれあいセンター人	11,845	12,454	△609
生きがい交流広場人	1,792	1,887	△95
会議室等人	709	1,148	△439
生きがい創作館人	3,257	1,368	1,889
視察等人	748	980	△232

シルバーケアセンター

利用者数	今年度	前年度	増減
利用者数人	2,365	2,603	△238

診療リハビリセンター

利用者数	今年度	前年度	増減
内科人	3,716	4,113	△397
リハビリ人	2,215	2,161	54
歯科人	281	405	△124



車……大曲、横手、湯沢駅から約30分です。
バス……羽後交通のバスがエリア前から発着します。

区分	所得階層	利用料月額	利用料日額
A	生活保護世帯	10,000円	400円
B	市町村民税非課税世帯	10,000円	400円
C	ABを除く所得税非課税者	15,000円	600円
D1	所得税 15,000円未満	20,000円	800円
D2	所得税 30,000円未満	22,500円	900円
D3	所得税 60,000円未満	25,000円	1,000円
D4	所得税 90,000円未満	27,500円	1,100円
D5	所得税 120,000円未満	30,000円	1,200円
D6	所得税 150,000円未満	32,500円	1,300円
D7	所得税 180,000円未満	35,000円	1,400円
D8	所得税 210,000円未満	37,500円	1,500円
D9	所得税 210,000円以上	40,000円	1,600円

情報というのは、お互いに交換し合い、共有することが大事だと思えます。エリア側から一方的に情報を流す、発信するというのはなく、このエリア機関誌を通して読者及びエリア利用者の皆様ともしっかりとコミュニケーションが図れたら、そして、誌上でいろいろな意見や情報の交換・キャッチボールができれば、どんなに素

編集後記

晴らしいでしょう。想像しただけでわくわくしてきます。確かに、緊張はします。でも、それによってこの機関誌がより充実し、そして、エリアのサービスマン向上に繋がらないことでは、そんなことでも結構ですので、ぜひとも、読者及びエリア利用者の皆様の「声」をお聞かせください。ご意見をお寄せください。お待ちしております。誌上で再びお会いできますように。

(H・K)

元気いっぱい
スタッフレポート



トップで力走!!
調子にのりまくる
佐藤公法選手

大森町
全町駅伝大会で
みごと準優勝!

去る6月22日に行われた「第31回大森ワインの里・全町駅伝大会」において、今年4月に結成された「エリアマラソン部」がみごと準優勝の栄冠を手に入れました。学生時代からトライアスロンで鍛えた健脚でチームを引っ張る佐藤公法（シルバーケア）の厳しい指導のせいか、大会直前に体調を崩すメンバーも現れ、一時は大会への参加すら危ぶまれました。しかし、沿道に集まった入居者と職員の大応援に励まされて期待以上の成果を収めることができ、夜は飲み屋を「たすきリレー」して健闘を称え合ったようです。



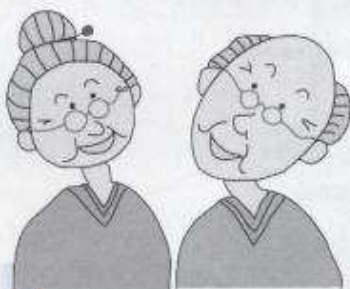
後ろでは既に打ち上げの相談

在宅老人介護センター (シルバーケアセンター)

前号ではコミュニティセンターをご利用なさるお子様連れのご家族にとってお得な利用方法・料金についてお知らせしましたが、今回は在宅のお年寄りやご家族の皆様方にとって耳寄りなプランをお知らせしたいと思います。

自宅の前まで送迎のバスが来た他に、風呂付き昼食付きで一日わずか400円(前年の納税額によっては個々人で異なります…詳しくは12ページの料金表を参照ください)。あなたのお好みにあった一日をあなた自身で計画し、心豊かに楽しく過ごせるエリアだけのプラン(=シルバーケアセンター)をご提案します。

バスで送迎する事業(シルバーケアセンター)は、どのようなお年寄りを対象としているのですか。



概ね60歳以上の方で、送迎用のバスの乗降が可能であれば基本的にどなたでも結構です。

他町村のデイサービスとどう違うのですか？

入浴・排泄・食事等の介助は基本的に行っておりません。そのかわり、季節に応じた行事や生き生き学園等の各種趣味活動を盛りだくさんに用意して、生きがいと潤いのある生活が送れるようなお手伝いをしております。エリア側の日程や都合で拘束されることなく、ご自分の自由な一日を選んで過ごしてもらえます。



元気で明るいスタッフがお待ちしています



主任察母の斎藤「お気軽にいらっしゃって下さい！」

エリアだけのプランってなに？

ディサービスのよう、週1回程度しか利用できないのですか？

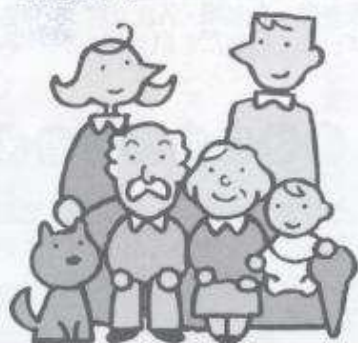
そのようなことはありません。定休日の日曜・祝日以外でしたら毎日でもご利用できます。定期的な通院が必要な方や他町村のディサービスに通っておられる方もいらつしやいます。曜日などに限らずご都合にあわせて利用が可能です。

一日を過ごすのですか？

エリアに到着したら、まず皆さんの今日の健康状態を把握したいので、職員が体調を観察しながら**血圧の測定**を行います。その後は、お風呂に入って汗を流すのも結構ですし、隣接する診療所で内科・歯科受診やリハビリ指導を受けるのも結構です。

館内には売店・レストラン・理容室・美容室もありますし、生き生き学園の各種教室やスポーツ施設の利用もできる他、将棋・囲碁・麻雀等の道具も取り揃えてあります。

エリアの持つ機能や設備を自由に使い、有意義な一日をお過ごしください。



送迎バスの時間とコース(市町村)を教えてください。

バスは午前8時にエリアを出発。皆さんを乗せながら午前9時30分頃までにエリアに戻ってきます。帰りはエリアを午後4時に出発します(冬期間は午後3時30分出発)。バスが運行するコースは横手市・平鹿町・雄物川町・十文字町・大森町・大雄村・仙南村・羽後町ですが、もちろん各町村の全域はカバーできませんので、詳しくはお問い合わせ願います。

利用料金を教えてください。

前年の納税額によって利用料金が変わります。詳しくは12ページの料金表をご覧ください。生活保護を受けておられたり、市町村民税が非課税の方(A・B階層)でしたら、一日当たりの利用料は四百円。各階層により一日当たりの利用料に開きはありますが、バスの送迎と風呂・昼食がついた他にいろいろなエリアの機能を利用してこの値段ですから、お得な料金設定になっていると思います。



シルバーケアセンターへのお問い合わせ先
☎0182-26-4606

ご利用ありがとうございます。

小野寺 トシ子



明るい笑顔で
お話ししてくれました

はじめはリハビリ目的 でしたが…

平鹿町樽見内にご主人と二人暮らしの小野寺さんは、シルバークアセンターを利用し始めて三年になります。利用のきっかけは、かかりつけのお医者さんがシルバークアセンターを紹介して下さったことでした。持病である膝の痛みを何とかしたいという気持ちで、リハビリに励むことを目的に利用を始めたのです。

プールでのリハビリで 思わぬ効果

隣接する診療リハビリセンターで小野寺さんは屋内温水プールでの歩行訓練を奨められ、プール指導員の協力を得ながら週二回約一時間ほど温かいプールの中をゆっくりと歩くだけのリハビリを始めました。すると、あれほど悩まされた膝の痛みが不思議なこと

に和らいでいくのがはつきりと分かるようになったとのこと。理学療法士によると、水の持つ浮力が膝に及ぼす負担を軽くし、その状態で運動することで小野寺さん自身の体力が向上して行った結果だということ。長年の持病を自らの努力で解消することができた小野寺さんの喜びは言葉では表せないほどでした。

エリリアはすっかり 生活の一部

その後小野寺さんは、体調が上向くと同時に気持ちにも余裕が出てきたそうで、活き活き学園の教室にも積極的に参加し、お茶会や押し絵を楽しめるようになってきました。毎日の暮らしの中では、まだ膝への不安もありますが、エリリアで過ごす楽しい時間もすっかり小野寺さんの生活の一部になっているようです。

福祉について考えるコーナー

福祉 マメ知識

ノーマライゼーション

ノーマライゼーションは「正常化」「常態化」と訳されていますが、適切な訳語が見当たらないようで、福祉の世界ではカタカナのまま広まっています。「普通の」「正常な」「当たり前の」という意味の「ノーマル」という言葉を名詞にして使ったもので、その考え方は知的障害者の分野から生まれました。デンマークのバンク・ミケルセンという人が、「ノーマライゼーションとは精神遅滞者（精神薄弱者）ができるだけ普通に近い生活をするることである」と最初にこの言葉を定義し、今では福祉における最も基本的で重要な考え方になっています。

ここで、前号同様想像力を働かせてみましょう。あなたが例えば、目が見えない、耳が聞こえない、手足が不自由だ、あるいは知的能力が劣っている…と仮定してみます。そして、ただこのような**障害がある**というだけで、一般社会から排除・隔離されたり、どこか遠くの施設に入れられたりしたら

どうでしょう。あるいは、施設に入っても、一つの部屋に何人もの人と一緒に生活したり、食事・入浴の仕方や時間が随分違ったり、普通の人には認められる自由や権利が制約されるとしたらどうでしょう。ノーマルといえるのでしょうか。この**障害がある**という所を**高齢者**という言葉に置き換えてみても全く同じ事です。不自然な社会になってしまうと思いませんか？

ノーマライゼーションは「障害者も、高齢者も、他の（普通の）人々と一緒に、その地域の中で普通に生活し生きていくのが本来あるべき姿である」ことを意味しています。結局、障害者であろうと、高齢者であろうと、子供であろうと、人間が人間として生まれたことにより当然持っている権利（これを基本的人権と言います）を、あくまでも守り抜く社会を築いていくことに尽きるかと私は解釈しています。ノーマライゼーションの視点から施設をそして社会を検証してみることが大事だと思います。

（社会福祉士 近藤 浩）

エリア夏祭り'99

8/7

エリアの
元気
レポート

REPORT

フラメンコ・ダンスショー



連日の猛暑が続くなか、保呂羽の里に夏の終わりを告げる「エリア夏祭り'99」が盛大に行われました。

当日はたくさんさんの屋台と模擬店の出店が祭りムードに花を添え、来場者数も入居者を含めて約二千六百人。ステージでは職員や入居者の余興の他、重さ当てクイズなど来場者が参加できるゲームもあり、例年になく和気あいあいとした雰囲気の中に進行了ました。そして、メインイベントである「民謡・歌謡ショー」と「フラメンコ・ダンスショー」には入居者も大喜びで、会場から大きな拍手が送られました。

祭りの締めくくりには、地元町内の婦人会による盆踊りが披露され、地域と施設が一体となって大きなイベントを成功させることができました。



射的の模擬店は大盛況



「三世交代流フェスタ」子供たちで賑いました



入居者のみなさんも大喜び



見るに耐えない職員の踊り

きみィー、うますぎだよ！(陶芸教室)



お父さんと競争だ。(電動ミニカー教室)

小中学生の夏休みに合わせ、子どもたちの創作意欲を高める場として恒例の「チャレンジ・ザ・夏休み」が行われました。

今回は陶芸・スポーツチャンバラ・絵てがみ・ステんシル・電動ミニカー・ハーブの計六教室を企画し、約八五〇名のみなさんに参加していただきました。なかでも東北電力横手営業所職員の方々に講師を務めていただいた「電動ミニカー教室」は、ソーラーエネルギーで走行するミニカーをデニスコートで試走させるなど今までになかった内容で、参加者は大満足の様子。エリア入居者の協力や参加もあり、楽しいふれあいの「思い出を創る」ことができました。

チャレンジ・ザ

夏休み

7/18
8/22



だれに出そうかなあ、
(絵てがみ教室)

おまたせしました！

待望の クーラー設置

エリアの利用者や入居者から要望の強かったクーラーが、この夏に設置されました。設置された場所は、コミュニティセンター新館大広間などの利用施設や養護老人ホーム食堂などの入居施設で計31部屋。今年は例年になく猛暑となりましたが、ご利用の皆様方は湿気の無いひんやりとした広間での休憩に大喜びでした。



夏はエリアで快適に！

6/29

大森町老人 スポーツ大会

大森町内のお年寄りの健康増進と親睦を図ることを目的とした第22回老人スポーツ大会が、大森町の町民体育館を会場に行われました。エリアからは軽費老人ホームの入居者を中心とした「エリア老人クラブ」が参加。優秀応援賞を獲得するなど、心地よい汗を流しながら地域のお年寄りと交流を深めました。



顔は隠しても絆は深い……。

バラ園見学

6/28

地元にある名所は知っていてもなかなか出かける機会がないものですが、シルバークアセンターでは季節に合わせた地域の名所めぐりを事業の中に取り入れており、今回も横手公園のバラまつりを見学してきました。色とりどりの美しい花畑を歩いていると自然に足取りも軽くなり、思わず笑みがこぼれてきます。天気にも恵まれ、楽しい一日でした。



甘いバラの香りに囲まれてハイポーズ。美女にはやはりバラがお似合いですね。

エリアオープン記念 ゲートボール大会

このときはやはり、
気合いが入ります！

7/1



県南部の各町村から選りすぐりの四十チームが参加して盛大に行われました。当日は開催が危ぶまれるあいにくの天気でしたが、参加された皆さんの熱意が雨雲を吹き飛ばしたようで、予定どおりのスケジュールをこなすことができました。エリアからは、シルバークアセンター、養護老人ホーム、軽費老人ホームの三チームが参加。シルバークアセンターチームがみごと四位入賞を果たしました。

成績

優勝 雄物川町 総合チーム
準優勝 横手市 旭西部チーム
第三位 横手市 館チーム
第四位 シルバークアセンター

合同 切り絵展

7/15
8/12

活き活き学園切り絵教室の講師でもある羽後町在住の石垣舞一先生とそのお弟子さんたちによる合同切り絵展がコミュニティセンター・玄閣ホールで行われました。秋田の懐かしい生活風景や四季の移ろいをテーマにした作品や屏風風の大作まであり、夏休みで訪れた利用者の皆さんも作品の質の高さに感心した様子でした。

展示グループ名

稲川町切り絵教室
羽後町創切会
千知町第二
切り絵グループ
湯沢市切り絵同好会
活き活き学園切り絵教室

子供よりお父さんが熱心でした



ミニ四駆 チューンナップ教室

7/24

エリア主催のミニ四駆大会が年間のシリーズ化されて2年目。毎回出場してもなかなか成績が上がらない方を対象に、雄勝町在住でJFA全日本フェンスカー協会秋田県支部の熊沢良文先生を講師に迎え、チューンナップ教室を行いました。特別で高価な部品(パーツ)がなくとも、ちょっとした工夫でおもしろいように速く走ることができ、参加者はますますミニ四駆にハマったようでした。

前期2級ヘルパー 養成研修終了

7/16

来年4月からはじまる介護保険に向けた福祉環境の整備が進む中、たのもしいマンパワーが誕生しました。約2ヵ月間にわたる研修を終え、今回晴れて2級ヘルパーの認定を受けた32名は、谷藤管理者から認定証が手渡されると、研修を終えた自信と2級ヘルパーとしての責任感をかみしめている様子でした。おめでとうございます。



研修を受けられた皆さん

夜空の イベント

地域の子どもたちが一晩の共同生活を体験することにより、普段薄れてきている異年齢間の交流を図り、地域の縦のつながりや仲間遊びができる一つのきっかけ作りにしようとして6年前から行っています。今年は十一地区から総勢九十六名が参加し、三回に分けて実施。中学・高校生ボランティアの手助けを得て、「ナイト・ウォークラリー」やゲーム、そして星空の観察などを楽しんでふれあいセンターに宿泊。今年は文字通りの「暑い」イベントとなりました。

8/3
8/17

楽しいひとときを過ごしました



「キッズ農園」
すくすく
成長しています

子どもと老人のふれあいセンター横に小さな畑「キッズ農園」を作りました。6月中旬、キッズ・クラブの子どもたちが菅生田地区老人クラブの協力で植えたさつま芋は、連日の猛暑にもかかわらず元気にその蔓を伸ばしていますが、石漉じりだった土を掘り起こし、土作りの指導や畝作りをしてくれた方々のご協力があればこそと感謝しています。とりわけ暑い中、除草してくれたエリア入居者の方には本当にお世話になりました。

まもなく収穫の時を迎えますが、「キッズ農園」を支えてくれたみなさんのことを話しながら、収穫を祝いたいと思います。

あの頃 私の思い出はなし

軍隊手帳

養護老人ホーム
高橋 善次郎さん



私たちはこうした家庭の土間や軒下に泊めてもらい、釜や鍋を借りながら軍隊生活を送っておりましたが、人なつつく温かい支那の人々の気持は今でも忘れることができません。

私にとっての軍隊手帳

私は、軍隊での生活がその後の私の生き方や考え方に大きな影響を与えたとは思っておりませんが、自分の兄弟を一人失った戦争という愚行は別として、軍隊生活そのものは良い経験だったと思っております。敗戦後に戦犯となることを恐れ、懲罰の履歴まで記載している軍隊手帳を破棄する人もいましたが、私にとっては日本の軍人として恥ずかしくない行動をとってきただ証、支那の人々とのふれあいの証として、軍隊手帳は大事な思い出の品であり、また私自身の誇りの品なのです。

昭和二十年一月、現役兵として十九歳で満州・支那（現在の中国北部）国境に配属となりました。終戦まで約半年、帰国して兵役を終了するまで僅か一年という短い軍隊生活でしたが、私の人生にとって本当に貴重な体験だったと思います。

はじめての手柄は素っ裸で

配属になった季節は真冬でした。吹雪と異国の地での行軍という不安に駆られる極寒のある日、井戸の水を汲んでいたところロープが切れてしまい、ズックで作った水汲み用のバケツが深い井戸の中に落ちるといふ事件がありました。すぐさま年少の私が井戸の中に入りバケツを取ってくることになり、命ぜられるまま吹雪の中に素っ裸で飛び出して井戸まで全力疾走。体中に突き刺さる寒さをこらえながら井戸の中にロープを使って突撃しました。ところが予想に反して、井戸の中は吹雪が入ってくることもないため温かく、外に出るのが嫌になるくらいだったのです。何とかバケツを拾い上げて井戸

支那の人々の思い出

こうした慣れない生活が続く中、私が興味を持ったのは現地・支那の人々の生活でした。北支那地方は水不足と寒冷の地で貧しく、人々は食事ができるくらい裕福だということを示すため、麦と大根葉のおかゆに塩で味付けした食事を玄関先で振っていました。ところが、ふだん土間で一緒に生活している豚を食べるときだけは感謝の気持ちを含めたお祭り騒ぎとなり、演台に乗せて丹念な調理が行われるのです。肛門から空気をいれて風船のように膨らますと、大きな中華包丁を巧みに使って、体中の毛を剃り落とし、皮までカリカリに焼いて最後は豪快にお尻から真っ二つ。血すら煮こごりるようにして料理するので、一滴もこぼさず集めていました。毛以外は全て食材として大事に扱っていたのが思い出されます。



高橋さんと思い出の品「軍隊手帳」